

安倍・自公政権の

憲法違反の「戦争法案」

# 强行採決を許しません

衆院



安倍・自公政権が「戦争法案」を强行採決した衆院安保特別委員会

日本共産党

国会論戦を通じて違憲性が浮き彫りになり、国民の過半数が反対する「戦争法案」——。安倍・自公政権は、国民の意思を無視して、衆議院の安保特別委員会（15日）と本会議（16日）で採択を强行しました。主権者・国民の意思を無視した强行採決を許すわけにはいきません。

本会議で討論に立つた日  
本共産党の志位和夫委員長

は「立憲主義を無視した政治の行きつく先は独裁政治だ。日本国憲法の恒久平和、民主主義、国民主権をことごとく蹂躪する専制政治は絶対に認められない」と自公の蛮行を批判しました。

動画をご覧ください

「戦争法案」の强行採決と抗議集会をはじめとする国民、日本共産党のたたかいを動画にまとめています。ぜひご覧ください。



ビデオ通信No.30



ビデオ通信No.31

力を合わせて廃案必ず

安倍・自公政権の强行採択は、国民世論に追い詰められた結果です。たたかいはまだまだこれから。国民のたたかいを広げに広げ、世論を高めて、その力で安倍政権を羽交い絞めにして、必ず廃案に追い込むために力を合わせて頑張りましょう。

世論に追い詰められた暴挙  
たたかいを広げに広げよう

衆院議員

大平 喜信

